

住民ニーズ調査について

1. 住民アンケート調査
2. 関係者ヒアリング調査
3. 医療機関巡回バス利用者アンケート調査

1. 住民アンケート調査

1) 調査の目的

住民の日常的な外出目的における移動実態を把握するとともに、公共交通（路線バス・医療機関巡回バス等）の利用状況、公共交通に対するニーズや改善要望等を把握し、八千代町における公共交通の課題を明らかにする。その課題に対する公共交通のあり方を検討するため、アンケート調査を実施する。

2) 調査の対象

表 調査の対象

項目	概要
調査の対象	<ul style="list-style-type: none"> ・八千代町内に居住する 15 歳以上の男女 ※住民基本台帳から対象を無作為に抽出 ・一人暮らし高齢者 ・区長、副区長
対象地域	・八千代町内全域
配布件数	・2,000 件
調査期間	・平成 30 年 7 月上旬から平成 30 年 8 月上旬

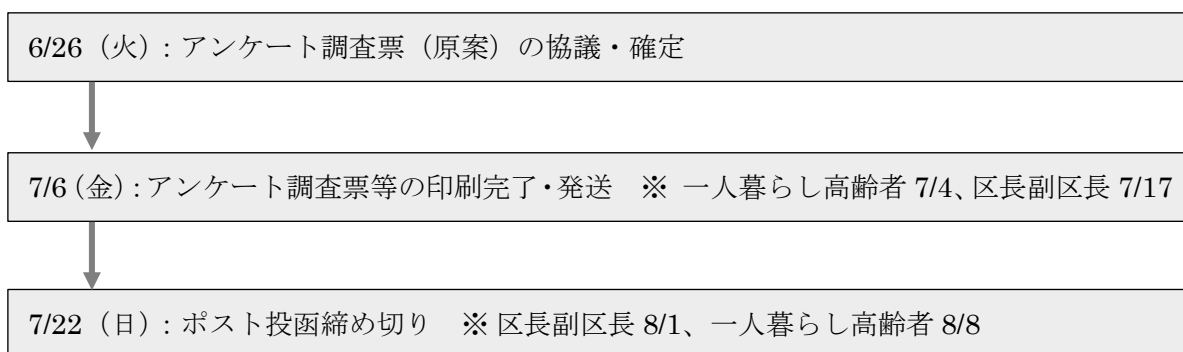
住民基本台帳：平成 30 年 4 月 1 日時点の基本として、各地域別及び各年代別の人口構成比に対して配布票数 1,624 件を按分して無作為抽出により決定する。その他、一人暮らし高齢者 250 件、区長、副区長 126 件、合計 2,000 件の配布とする。

3) 配布・回収方法等

配布・回収方法、実施スケジュール

表 配布・回収方法

配布先	配布方法	回収方法
一般世帯	郵送配布	返信用封筒による郵送回収
一人暮らし高齢者	民生委員による直接配布	民生委員による直接回収
区長、副区長	文書使送による配布	返信用封筒による郵送回収 又は使送員による直接回収



4) 調査項目

アンケート調査では日常的な外出行動の実態や公共交通の今後のあり方に対するニーズを把握することを主眼とし、下表に示す設問設定を踏まえて調査票を作成する。

表 住民アンケート調査の項目設定

調査項目	把握内容 (概要)	問
日常生活の 外出状況	○通勤・通学、買物、通院などの日常生活での移動実態 (目的地、頻度、時間帯、移動手段など) ○外出する際に困っていること	1~4
クルマの 利用状況	○自動車の運転状況 ○自動車の利用目的 ○自動車の運転をやめるために公共交通で必要なこと ○自動車運転をやめた理由	5~8
公共交通 の利用状況	○路線バス、医療機関巡回バス利用有無 ○路線バス、医療機関巡回バスを利用する理由、利用しない理由	9~11
公共交通の 今後のあり方	○外出する際に困っていることに対して、望んでいる公共交通のあり方	12~15
基本属性	○性別・年代・職業 ○居住地 (地区別) ○バス停までの歩行可能距離 (時間)	16

参照：《資料4-1》

2. 関係者ヒアリング調査

1) 調査の目的

町内の関係団体へヒアリングを実施し、日常生活における移動実態や公共交通の利用状況などを調査し、八千代町における日常の移動に関する問題・課題を把握する。

2) 調査の対象および方法

- ・調査員が直接訪問し、ヒアリング項目に沿って、聞き取り調査を実施する。
- ・高齢者団体は、地域毎（5地区）に集落センターにおいて開催し、ヒアリング項目に沿って、聞き取り調査を実施する。

表 調査の対象

事業者	訪問先
交通事業者	1) 路線バス 茨城急行自動車株式会社 2) タクシー・医療機関巡回バス 有限会社沢木交通
高齢者団体	3) 各地域の老人クラブを中心とした交通弱者 中結城地区、下結城地区、安静地区、西豊田地区、川西地区
医療機関等	4) 八千代病院 5) 八千代診療所 6) 菊山医院 7) 佐々木整形外科

3) 調査の日時

調査日 平成30年7月上旬～8月下旬（調査日については別途調整）

4) 調査の項目

(1) 交通事業者

項目	ヒアリング内容（案）	活用方法
会社概要	○事業内容、車両数、従業員数（ドライバー、事務員）	○輸送力の把握に活用
運行状況	○バス利用実態 （乗降の多いバス停、曜日、時間帯、利用者の年齢など）	○現状の移動実態の把握に活用
改善提案・意見	○運行方法（ルート、時間帯、本数） ○乗降場所（位置、ベンチ、上屋等） ○車両（大きさ、定員、デザイン等） ○運賃について ○利用者からの声	○今後の路線バスのサービス向上や利用促進の検討に活用

(2) 高齢者団体

項目	ヒアリング内容（案）	活用方法
日常の 外出状況	○外出先、外出目的、外出頻度 ○日常の交通手段（免許の有無、送迎の有無等） ○医療機関巡回バスの利用について	○現状の移動実態を把握に活用 ・どのような目的で、どの時間帯に、どのエリア（町内・町外）に移動しているかなど
公共交通に 対する意見・ 要望	○困っていること ○希望する運行形態 ○運賃の負担	○公共交通に対するニーズの把握に活用 ○新たな公共交通の運行形態の検討に活用

(3) 医療機関等

項目	ヒアリング内容（案）	活用方法
①施設概要	○診療科目、病床数、職員数	○診療体制の把握に活用
②通院の状況	○通院者数 ・通院の多い診療科目、曜日、時間帯 ○通院者の年齢、居住地 ○通院手段 ○通院者からの声（通院で困っていること等）	○現状の移動実態の把握に活用 ・どのような目的で、どの時間帯に、どの病院を利用しているかなど
③公共交通に ついて	○公共交通での通院状況 ○送迎バスの実施の有無 ○施設から公共交通に対する意見・要望	○公共交通に対するニーズの把握に活用 ○新たな公共交通の運行形態の検討に活用

3. 医療機関巡回バス利用者アンケート調査

1) 調査の目的

医療機関巡回バスの利用者を対象に、アンケート調査を実施し、医療機関巡回バスの利用状況や課題、要望等を把握するとともに、今後の公共交通のあり方に対するニーズについても把握する。

2) 調査の対象および方法

調査の対象および方法は以下の通り実施する。

表 調査の対象および方法

項目	概要
調査の対象	・医療機関巡回バス利用者（50名程度）
調査の方法	・運行業者に依頼し、利用者に対して車内でアンケート用紙を配付 ・返信用封筒にて回収又は巡回バス運転手に手渡しにて回収
調査期間	・平成30年7月上旬から平成30年8月下旬

3) 調査の項目

下表に示す設問設定を踏まえて調査票を作成する。

表 医療機関巡回バス利用者アンケート調査の項目設定

調査項目	把握内容（概要）	問
医療機関巡回バスの利用状況	○利用する曜日 ○利用区間 ○利用頻度 ○課題・要望	1～6
公共交通の今後のあり方	○利用したい公共交通 ○運賃について	7～8
基本属性	○性別・年代 ○お住まい（地区別）	9

参照：《資料4－2》